

総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【4月号】

| | | | | | |
|------|---|-----|-------|---|-------|
| クラブ名 | NPO法人おもしろファーム | 訪問日 | 4月10日 | 訪問者 | 若林 真優 |
| 訪問詳細 | <p>今回は、宇部市新天町にありますNPO法人おもしろファームのランニングバイクイベント「第6回 おもしろカップ in うべ」にお邪魔させていただきました。約80名の2才～6才までの子どもたちが参加しており、賑やかな会場でした。岡山や兵庫など遠方から参加されている方も少なくありませんでした。ランニングバイクは、バランス感覚を養ったり、足腰を鍛える効果があったりするので、幼児には最適な種目です。今回のイベントでは、年齢別にわかれて順位を競っていました。ランニングバイクをはじめたばかりの子どもも、イベントに参加しやすいように、「はじめてのクラス」という部も設けてあり、誰でも気軽に参加できるような配慮もうかがえました。こうしたイベントを通して、子どもたちが体を動かすことの楽しさを実感できると感じました。これからの活動にも注目です。</p> | | |   | |

| | | | | | |
|------|---|-----|-------|---|-------|
| クラブ名 | くだまつ絆星スポーツクラブ | 訪問日 | 4月20日 | 訪問者 | 宮田 大樹 |
| 訪問詳細 | <p>今回は、くだまつ絆星スポーツクラブで今年度から新たにスタートした「KIDS JUDO 体操教室」の様子を拝見してきました。3歳～未就学児を対象にした教室で幼児期の神経系統の発達を目的に、走運動やマット運動を中心に様々な運動を実践していました。また、神経系統の発達だけではなく礼儀作法を学ぶという点も重視しており、参加者にとって貴重な経験になったのではないかと思います。近年では、運動をする子としない子の二極化の問題がありますが、幼児期から運動に親しむことで、この問題の解決につながると考えます。また、そのような環境整備をクラブが担うことにより、クラブがますます発展していくのではないのでしょうか。くだまつ絆星スポーツクラブの更なる発展に期待したいです。</p> | | |   | |

☆レッツ！オリ・パラ☆



2020年
東京オリンピックまで

1548日

※平成28年4月28日現在

ボクシングの歴史は古く、古代ギリシャでは、全裸にオリーブオイルを塗り、グローブの代わりに拳には皮のバンテージのようなもの巻いて、腕や肘でも攻撃をしていたそうです。近代ボクシングは19世紀末にイギリスで成立され、その後、アメリカ大陸でポピュラーとなり、20世紀の初めにヨーロッパへと広がりました。1904年のセントルイス大会から近代オリンピックの競技種目となりました。オリンピック競技のボクシングは、プロボクシングとは異なり、ヘッドガードを着用し、厳格なルールを適用します。出場資格には年齢制限があり、17～34歳までとなっています。2008年の北京大会までは男子のみの競技でしたが、2012年のロンドン大会では、女子ボクシングも実施されることになり、これによりオリンピック全競技で男女開催となりました。女子はフライ級・ライト級・ミドル級の3階級のみで実施され、男子はフェザー級が廃止され10階級に再編されています。2020年の東京大会では、男子は3分×3ラウンド、女子は、2分×4ラウンドの勝ち抜きトーナメント戦で実施される予定となっています。最近で言えば、2012年のロンドン大会の男子ミドル級で金メダルを獲得した村田諒太選手をご存知の方が多いのではないのでしょうか。村田選手は、その後プロへ転向し、現在も大活躍しています。村田選手に刺激されて頑張っているボクシング競技者も多いのではないかと思います。リオ大会、東京大会でも日本人選手の活躍に期待したいですね！